

東北支店社員旅行 お江戸へ！

毎年恒例の東北支店社内旅行は、旅行代理店に依存しない独自のアイデアとして、従来になかった企画を立案し、東京フリー+屋形船舟下り+横浜中華街のプランを実施したもので、近年になかった楽しい旅行となりました。



これは、東北新幹線の八戸駅開業により、八戸～東京間が約3時間と都心が近くなったことにより、下記の様な斬新なスケジュールが可能となり、参加者それぞれの思い出作りができました。

1日目：東京駅 9:51 着、即解散（各自自由行動）⇒ 19:00 駒形集合：舟下り（宴会） 宿泊：浅草ビューホテル

2日目：ハトバスツアー（横浜中華街）⇒ 東京駅 15:00 着（自由行動）⇒ 八戸駅 20:04 着 解散

特に隅田川屋形船の舟下りでは、お江戸情緒に揺られながら田舎から来た者にとっては特に、素晴らしい大東京の夜景を満喫出来ました。

更に当日は伊藤社長・村口専務・橋本経理部長のご臨席もいただき、盛り上った宴会を楽しむことも出来ました。

MESCO東北支店は、業務面にとどまらず様々な提案を用意し、自他共に満足しようとの意欲満々なのです！



横浜にて



屋形船

Engineering Quarterly

平成17年 3月17日 発行 Vol.34

発行責任者 国内営業部 橋政人(tachibana_m@mesco.co.jp)

発行担当者 国内営業部 正木 孝信(masaki@mesco.co.jp)

URL: <http://www.mesco.co.jp>

明日を担う技術の **MESCO**

三井金属エンジニアリング株式会社

本社 〒130-8531 東京都墨田区錦糸 3-2-1 アルカイスト 15階 Tel 03(5610)7831 Fax03(5610)7861

国内営業部 〒130-8531 東京都墨田区錦糸 3-2-1 アルカイスト 14階 Tel 03(5610)7840 Fax03(5610)7863

東京支店 〒273-0017 千葉県船橋市西浦 3-9-1 Tel 047(432)0131(代表) Fax047(432)0127

東北支店 〒039-1161 青森県八戸市大字河原木字浜名谷地 76 Tel 0178(28)2041(代表) Fax0178(28)5251

本紙発行責任者の国内営業部長に橋政人がこの度着任しました。

国内営業部は**MESCO**パワーを更に拡大発進していきます。



MESCO

Engineering 2005年3月

Quarterly Vol 34

錦糸町へ本社移転

本年2月7日より、当社の旧両国本社と旧CEC（中央エンジニアリングセンター）を統合し、錦糸町新本社での営業を開始いたしました。

CECは、当社の業容拡大に伴い両国本社が手狭になったことから、1991年にエンジニアリング事業部の技術部門を分離独立したもので、当時最新のOA機器を導入しエンジニアリング業務の効率化と工事遂行能力の強化などを目的としていました。

その後14年間CECは当社エンジニアリング事業の拠点としてきましたが、本社ビルの老朽化と更なる効率化を追求するため、このたび新本社に統合することになったものです。

今回の新本社への移転により、

1. エンジニアリング事業部では、営業部門と技術部門が同一フロアで業務に当たるため、これまで以上に効率化と品質の向上を追求できる。
2. パイプ事業部も旧本社では3フロアに分散していたが、移転により同一フロアに集中することで業務の効率化とコミュニケーションの向上が期待できる。

などの効果とともに、お客様へのサービス向上を目指しています。

新しい**MESCO**にご期待下さい。



本社受付



本社所在地

東北支店

川村商会殿向 廃棄物焼却炉建設工事

MESCO東北支店は、平成15年10月青森県三沢市の(有)川村商会殿より焼却施設建設工事を受注し、青森県知事へ廃棄物処理施設設置許可申請及び都市計画審議会に係る建築基準法第51条許可申請を進めておりましたが、昨年8月に両申請の許可を受け現地の建設工事に着手しました。

この焼却施設は、**MESCO**逆燃焼方式の炉に揺動ロストル及びプッシャー式灰出し装置を組み込んだ連続運転可能な、処理能力30t/日(16時間)の炉で、ダイオキシン対策を施した最新型の施設です。本年6月の完成引渡しに向けて建設工事が進行中であります。

(有)川村商会殿は、青森県三沢市を中心とした地域の産業廃棄物処理及びリサイクルの大手事業者で、45t/日の既存焼却施設を保有し、また各種破碎機・プレス機・切断機等を保有して、廃棄物の焼却、コンクリートや木くずの破碎再生、鉄くず、銅、アルミ、古紙等のリサイクル、廃自動車の解体等の各種の事業を行っております。

このたび、廃棄物処理法及びダイオキシン類特措法等の規制強化に伴い、自社の廃棄物処理能力を充実・強化すべく既存の小型焼却炉(3基)を廃止・撤去し、本焼却施設の建設計画を具体化したものです。

(有)川村商会殿は、本施設の完成・稼動により2炉体制を確立し、最大90t/日(24時間)の処理能力を有する青森県内屈指の廃棄物処理業者として、今後の更なる発展を目指しております。



建設中の焼却施設

素材部品営業部

日本原燃(株)殿向 中性子吸収材 納入

MESCO素材部品営業部は日本原燃(株)の核燃料再処理工場(青森県六ヶ所村)へ納入する中性子吸収材(カドミウム板)を受注し、11月に上海にて客先の立会い検査を受けました。

このカドミウム板は原子力発電所より発生する使用済み核燃料の再処理工程で、「ウラン酸化物の貯蔵バスケット」に使用されます。貯蔵されたウラン酸化物はMOX燃料工場でウラン・プルトニウム混合燃料となり、各原子炉でプルサーマル燃料として使用される予定です。一昨年の80基分に続き今回は110基分を納入するもので、今後2009年までに600基分が計画されております。

現在、日本の電気は1/3が原子力でまかなわれており核燃料の再処理は、限りある資源の有効活用と地球環境保護の上でも重要なものとなっております。また**MESCO**素材部品営業部は原子力発電所建設や操業に不可欠な鉛板・鉛毛・鉛ブロックなどの放射線遮蔽体の供給を通して、原子力安全の一端を担っています。

- * 納入先 日本原燃(株)再処理工場
- * 品名 中性子吸収材
- * 用途 ウラン酸化物貯蔵バスケット用
中性子吸収材
- * 実績 H15: 80基分(約1,300枚)
H16: 110基分(約1,800枚)



検査中風景



上海工場にて

MESCOの豊富な経験と優れた技術は、広い分野でご愛顧を頂いております。

国内営業部

米海軍横須賀基地殿向 廃水処理設備納入

MESCOは米海軍横須賀基地殿に廃水処理設備を納入致しました。本設備は横須賀基地の塗装器具等の洗浄工程から発生する廃水を**MESCO**独自の高性能固液分離装置(ECクイックセパレーター)を組み合わせ、廃液を分離する設備です。

特長は処理能力が極めて大きいことから敷地面積が小さくて済み、装置は極めてシンプルで保守管理が容易です。

MESCOは永年のこれら廃水処理技術の蓄積と経験から、より確実でより安定した水質を保証し省エネと使いやすい処理設備を今後も提供していきます。



廃水処理設備



米海軍横須賀基地全景

パイプ事業部

水害に強い**MESCO**パイプ

波浪により海岸部道路が破損する中、パイプ自体も波浪の影響、土砂の影響を受けたと想像されますが、**MESCO**パイプは切断、破損することなく送水を継続しました。

ここまで強いパイプか！！！！と断水することなく地域に貢献できた**MESCO**パイプは頼もしいパイプです。

「いずれの場合も铸铁管やVPであれば跡形もなく無くなり断水は免れなかった。」と客先から大変喜ばれております。**MESCO**パイプは今後も多方面に拡大していきます。

